

令和7年度 鈿路市地区の研究活動

研修部長 鈿路市立大楽毛小学校
校長 富田直子

1 はじめに

鈿路市小中学校校長会は、小学校、中学校、義務教育学校 40 名の会員で構成している。鈿路市教育行政方針に基づき、校長会としての基本方針及び運営方針を掲げ、組織マネジメントや人材育成、危機管理力、働き改革等を重点として、職能の向上と組織力向上に努めている。

とりわけ小学校長会では、今年度の研修内容を喫緊の課題である「人材育成・リーダー育成」に焦点化し、ミドルリーダーの育成や管理職候補の育成等について、協議する場を複数回設けるなど、研究を深めている。



◇8月26日 後継者育成研修の様子◇

2 研究計画

(1) 研究の方針

- ・鈿路市小中学校校長会の基本方針を踏まえ、教育改革の推進と教育課題を勘案しながら、校長としての職能向上を図るため、組織的研修に努める。
- ・道小、道中などの基本課題に基づき、21世紀を担う日本人の育成を目指して、学校経営の活性化と経営の充実に反映する研究を推進する。
- ・鈿路市の子供の学びを支える実践的指導力をもつ教職員の育成と多様な知識・専門性を有する教職員集団の形成を目指した研修に努める。

(2) 研究主題

- ① 基本主題 「自ら未来を切り拓き、豊かな共生社会の創り手を育てる学校経営の実現」
～ふるさと鈿路に誇りをもち、豊かな未来を築く子供の育成を目指す学校経営の推進～

② 研究主題

【研究主題1】「学校経営」

◇新たな時代に対応し、信頼と連携を基盤とした創意と活力に満ちた学校経営の実現

【研究主題2】「教育課程」

◇社会と連携・協働して「生きる力」を育むカリキュラム・マネジメントの推進

【研究主題3】「研修・育成」※重点

◇令和の日本型教育を担う教師の育成と質の高い教職員集団の形成

【研究主題4】「教育課題」

◇学校と地域との連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現

(3) 研究推進・事業計画

- ① 研修組織・運営に関する事項（研修部年間計画の作成等）
- ② 道小及び道中・全連小、全日中大会に関する事項（情報提供及び参加、企画涉外等）
- ③ 会員の研修に関する事項（小中合同・校種別研修、学校経営協議会、後継者育成研修等）
- ④ 研究推進に係る資料の収集・提供に関する事項（調査研究と資料提供等）

3 研究活動の概要

- (1) 全連小及び全日中各種委員会調査への協力
- (2) 道小及び全連小大会提言発表に向けた研修の強化、道中及び全日中大会に係る参加・報告
道小根室大会第8分科会「リーダー育成」において、國井彩子校長（武佐小学校）が提言を行うことを踏まえ、小学校長会として「人材育成・リーダー育成」を重点に研修を進めてきた。根室大会には18名が参加。また、全連小福岡大会には次年度の提言発表（リーダー育成）を見据え3名が参加、報告を行った。
道中胆振・室蘭大会では、第3分科会「豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の充実」において、鈴木穣校長（共栄中学校）が提言を行った。大会には8名が参加、全日中香川大会には1名が参加・報告を行った。
- (3) 小中合同研修、校種別研修の実施
今年度は「人材育成・リーダー育成」を重点として研修を進める中で、各小学校長が自校の実態を踏まえ、計画的に取組を進められるよう、小学校長会として「教職員人材育成（成長）戦略」（以下、「人材育成戦略」という）の作成に着手した。また、合同研修においても広い見地から示唆をいただきため、民間企業で人材育成を担当している方に講師を依頼し研鑽を深めた。
① 合同研修 第1回「ふるさとキャリア教育」（5月）
第2回「リーダー育成」（9月）
講演「SONYの人材育成」（オンライン）
(株)ソニービープルソリューションズ 代表取締役社長 寺田 貞司 氏
第3回「校長の戦略」（11月）
第4回「コンプライアンス」（12月）
② 校種別研修（小） 第1回 交流シートを活用した実態交流（4月）
第2回 教員育成資料を踏まえた具体的な取組交流（5月）
第3回 「人材育成（成長）戦略」の協議（6月）
第4回 「人材育成戦略 Vol. 1」の完成（8月）
第5回 「人材育成戦略 vol. 1」を踏まえた各校の取組交流（12月）
第6回 次年度に向けて（2月）
(4) 「第69回釧路市学校経営研究協議会」の開催
毎年度小中の校長が一同に介し、今年度の取組についての提言を踏まえながら協議を行う場を設定する。講演会には各校の教頭も参加する。
・日 時：令和8年1月8日（木）9:30～15:50
・場 所：釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞
・内 容：3分科会（小中合同分科会2、小学校分科会1）における提言及び研究協議
講演会 講師：北海道教育委員会 学校教育監 川端 香代子 氏
(5) 後継者育成研修の実施
後継者育成（人材育成）は校長の責務であることを自覚し、次代を担う人材の資質能力の向上をマネジメントするため、今年度も木曜会（ミドルリーダー育成）、職能研修（管理職育成）を実施し、教職員の資質能力の向上を目指して研修の場を企画・設定した。

4 おわりに

今年度は、令和7年度道小及び令和8年全連小の提言が予定されていることから、「人材育成・リーダー育成」を軸に研修を進めてきた。小中合同研修の講師が「社長の一番の仕事は次の社長をつくること」と言っていたとおり、次年度以降も各学校において次世代リーダーの育成を主体的に進めていけるよう研修内容の工夫・改善に努め、校長の資質能力の向上を図っていきたい。